

栄光の軌跡

士別地区中学校意見発表大会

優秀賞 2年
奨励賞 3年

演題「言葉の力」
演題「周りを気にするのはいいことなのか」

平成30年度「中学生税に関する標語」コンクール

名寄関税会長賞 2年
標語作品「納税で 笑顔あふれる 町づくり」

防災訓練がありました

10月28日(日)に多寄地区自治会連絡協議会による「多寄地区防災訓練」が本校の体育館で行われました。今回は洪水による避難勧告が地区全域に発令された想定で訓練が行われ、70名程の方が参加しました。

当日は各自治会の自主防災組織が中心になり、避難者の誘導や氏名の確認、けが人の対応等、災害時の対応方法を確認していました。

中学校の体育館は広域避難場所になっています。私たちが災害時に避難者を受け入れる際どのように対応したらよいか、とても勉強になりました。

駐車場のライン引き ありがとうございました

10月13日(土)に士別市塗装組合様がボランティアで、駐車場のライン引きをしてくれました。ありがとうございました。



11月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	木	進路説明会(3年)	16	金	職場見学(1年) 巡回文庫
3	土	文化の日 多寄町文化祭(支区Pコース) 今井杯卓球大会	17	土	市P連研究大会 名寄地区新人卓球大会
4	日	市P連ミニバレー大会	19	月	朝会
5	月	朝会	20	火	三者懇談①(3年)
6	火	校内研修	21	水	三者懇談②(3年) 閉校事業協賛会設立総会
7	水	士別市教育研究大会	22	木	常任委員会
8	木	学力テスト(1・2年) 総合C(3年)	23	金	勤労感謝の日 町民健康教室(体育館)
10	土	バドミントン新人大会(個人)	27	火	代議員会
13	火	期末テスト(3年)	29	木	職員会議
14	水	交通安全街頭指導 子ども夢トーク			

士別市立多寄中学校 学校通信

たよろま

校訓 自主協同

第7号

平成30年10月31日発行

相手を大切に想うこと

校長 工藤朝博

日甜の工場から白い湯気が立ち上がり始めました。農家の皆さんは、そろそろ収穫を終えた頃ではないでしょうか。長雨と日照不足の影響なのか、今年は実の入りが悪いという声をよく聞きますが、みなさんのところはいかがでしたでしょうか。

学校では、12日に生徒総会を行いました。生徒会長の さんの挨拶の後、前期の反省をし、新旧役員の入替えを行いました。3年生の皆さんは、立派に役割を果たし、後輩にバトンをつないでくれました。1・2年生は、これまで先輩方が築き上げた伝統を引き継ぎ、閉校をむかえる多寄中学校の有終の美を飾ってくれることと思います。

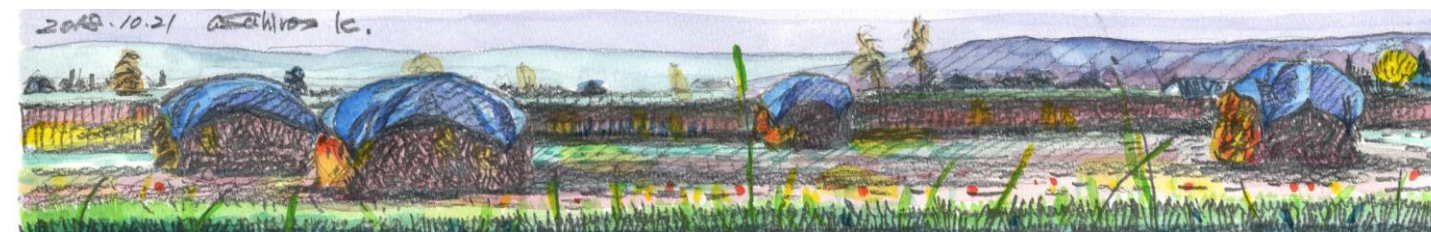
新しい生徒会本部の活動目標は、「周りに目を向け、積極的に行動できる学校をみんなで目指す」と決まりました。生活常任委員会の目標は「全校生徒が体力向上を目指し、整理整頓を心がけて健康な環境で過ごす」で、文化常任委員会の目標は「本と触れ合う機会・図書室利用者数を増やす」です。これから、この3つの目標を達成するために、生徒全員が知恵を出し合い、協力して活動することになります。

私は、人が幸せに生きるためには、この「みんなが知恵を出し合い、協力して活動する」ということが、とても大切だと思っています。それは生徒と同様に、私たち大人にとっても大切なことです。この中学校が閉校した後、みんなでこの施設をどのように活用するのか知恵を出し合い、楽しみながら新しい多寄をつくっていく必要があると思います。

生徒総会の最後に、私が理想とする集団の姿を4つ話しました。①誰もが安心して、そこにいられること②ありのままの自分が認められ、受け入れてもらえること③自分が主人公でいられること④心が通じあえる仲間がいることです。

当たり前ですが、人はすべて違います。学校や地域という集団の中で、そんな違う人たちが集まれば、当然2通りの集団になることが予想されます。ひとつは、お互いが相手の違い(よさ)を認め(見つけ)、一人ひとりがその長所を出し合い、助け合いながら生活できる集団で、もうひとつは、お互いが相手の違いを認めず(自分と違う考えは排除して)、自分を守ることに専念し、いつまでも協力することができない集団です。相手の違いを認め、協力できる集団になるのは、実に難しいことです。言い方を変えれば、「大嫌いな人をも受け入れて、さらにその人のよさを見つけよう」ということです。かなり勇気のいることです。しかし、これができれば、人間関係で悩むこともなくなりますし、自分と違う価値を受け入れて、自分が変わり成長していくことができるようになります。

25日は、士別市小中学校音楽発表会でした。本校はみんなでトーンチャイムを使い「花が咲く」を演奏しました。 さんも客席で一緒に参加しました。精一杯の勇気を出して、みんなの演奏を聞きに来てくれたのです。人はみんな違います。それを受け止め、ありのままの相手(長所・短所)を受け入れることは、大変難しいことです。人を大切に想えなければ、できないことです。人を愛することができなければ、できないことです。生徒一人ひとりがトーンチャイムをもって奏でる姿は、前に奏でた音色を引き継ぎ、次の仲間を信じて自分の音色を奏でるという心の協同作業だと思いました。 さんも含めた全校生徒の心のハーモニーを聴いていると、自然に涙があふれてきました。これから中学校の閉校を機に、地域が大きく変化する可能性があります。今こそ、私たち大人一人ひとりが主人公になって、「みんなで知恵を出し合い、協力する姿」を見せる時なのかもしれません。11月21日は、閉校事業協賛会設立総会です。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



学校教育目標「豊かな心情をもち、根気強く、実行力に富む生徒の育成」

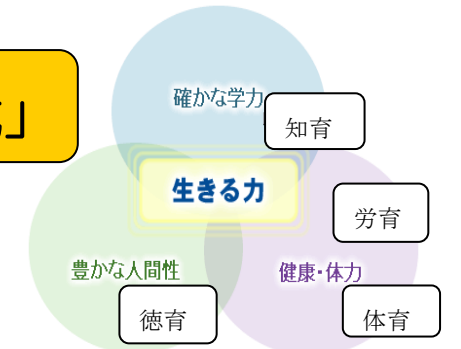
○思いやる広い心・徳育の気(徳育) ○たくましい身体・強靱の気(体育) ○確かな思考力・表現力・判断力・向上の気(知育) ○働くことをいとわぬ精神・忍耐の気(労育)

<めざす生徒像>

真心をもってやりぬく
た たくましい人(体育)
よ よく考える人(知育)
ろ ロマン豊かな人(徳育)(労育)

重点目標「規則正しい生活をし、先々を見とおしながら、よく考えて行動できる生徒の育成」

今年度の重点目標を具体的な教育活動に！！



生徒会認証式(10月1日)、生徒総会(10月12日)



10月1日に後期生徒会の認証式が行われ、12日は後期生徒総会がありました。後期から2年生が活動の中心になります。今後も活発な生徒会活動になるよう、期待しています。

- 生徒会 会長 さん
副会長 さん
書記 さん
- 生活常任委員会 委員長 さん
副委員長 さん
- 文化常任委員会 委員長 さん
副委員長 さん
- 学級委員長
1年生 さん
2年生 さん
3年生 さん

士別市区中学生英語発表大会(10月22日)

士別地区中学生英語発表大会のパフォーマンス部門に2年生5名が出場しました。限られた時間のなかで一生懸命に練習し、当日はたいへん聞きやすく、はっきりとした発音で発表できました。



職場体験学習(10月16日・17日)

2年生6名が、士別市内の事業所で職場体験学習を行いました。職場体験学習では、「働くことの意義(職業観)」や「働いてお金を得ること(勤労観)」を学びました。二日間という短い間でしたが、自分のよさを見つめ、将来について考えるよい機会になりました。ご家庭でも働く喜びなど、話題にしていいただければと思います。



子ども議会(10月23日)

市役所本会議場で行われた子ども議会に、さん(1年)とさん(1年)が参加しました。さんは「商店がない地域への対策」について、さんは「市民の防災と意識を高める取組」について質問し、相山副市長から答弁がありました。2人は緊張しながらも、自分の意見を堂々と述べていました。

インターネット安全教室(10月24日)

ECネットワークの原田由里さんを迎えインターネット安全教室を行いました。スマートフォンの安全な使い方や個人情報の取扱いなどについてお話されました。「ネットは自由な世界ですが、自由は同時に責任を伴うもの」という言葉が印象的でした。スマートフォンは便利な道具ですが、一人ひとりが責任をもって安全な使い方ができるようになって欲しいと思います。



小中学校音楽発表会(10月25日)

今年は「花は咲く」という曲をトーンチャイムで演奏しました。多中祭でも発表した曲です。トーンチャイムの優しい音色が文化センターの大ホールによく響き、とても神秘的な雰囲気になりました。演奏後は他校の先生方からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

